

ロサンゼルス郡の 地域社会における健康の 公平性向上計画

2024-2029年



最終改訂日: 2024年10月3日
(Japanese)



地域社会における健康の公平性向上計画 (CHEIP)とは？

健康の公平性を高め、健康で繁栄する社会地域を育成するための計画で、ロサンゼルス郡公衆衛生局（以下公衆衛生局と略す）、パートナー、利害関係者の間で共有されるものです。

この計画を策定する際、公衆衛生局は、入手可能な最新のデータを見直し、ロサンゼルス郡で最も差し迫った公衆衛生上の問題のいくつかに対して集団的に影響を与える戦略を特定するために、地域社会のパートナーや利害関係者と緊密に取り組みました。

CHEIPは、これからも優先順位の高い集団の健康問題を反映させ、公平性を達成し、集団的に健康を促進するために、パートナーシップを組み、一致団結して取り組むことの重要性を強化しています。

重点分野



黒人・アフリカ系アメリカ人の乳児および妊産婦の死亡率



性感染症および先天性梅毒



環境正義



暴力防止

公平性を基盤に



健康の公平性は、すべての人が最善な健康とウェルビーイングを手に入れるために公平で公正な機会を得ることで成立します。

CHEIPは、プログラムやプロセスの設計や強化の指針となるよう確立された公平性の枠組みに基づいています。戦略は、以下の公平性の優先順位に従って構成されています:

役立つ包括的な健康の公平性に関するデータへのアクセスを提供する。

機会や資源を公平に分配するための政策や制度改革を支援する。

正当に力を分かち合い、地域社会の自主性を尊重するパートナーシップを築く。

公正な文化を採用し、健康の公平性を推進するための組織の心構えと能力を強化する。

活動に参加 してください

CHEIPは、選択された重点分野のための集合的な出発点を提供し、他の組織、機関、利害関係者、地域住民の努力によっても公平性を高め、健康アウトカムが改善されることを認識しています。

CHEIPの各セクションは、CHEIPで特定された活動を支援または補完するために取ることができる追加の「協力行動」を提供しています。

公衆衛生局とパートナーがCHEIPを実施するにつれて、私たちは、目標とする健康の優先事項に対する集団的影響をさらに促進するためのさらなる機会を得て、計画を拡大し、更新することを計画しています。

最新情報はこちらから:

<http://publichealth.lacounty.gov/pie/planning/chip.htm>

目的声明:

ロサンゼルス郡のすべての黒人・アフリカ系アメリカ人の赤ちゃんと母親や出産者が、健康で喜びにあふれた出産を楽しみ、赤ちゃんの1歳の誕生日を過ぎても生き生きとした生活を送ることができる。

測定可能な目標:

5年以内に、黒人・アフリカ系アメリカ人の乳児死亡率（IMR）を低下させることにより、白人と黒人・アフリカ系アメリカ人のIMRの格差を50%縮小させる。

重点分野 1: 黒人・アフリカ系 アメリカ人の乳児および 妊産婦の死亡率



有用で包括的なデータ

戦略 1: 2025年6月までに、妊産婦と乳児の死亡率および関連データを人種・民族別に集計した、一般にアクセス可能なデータダッシュボードを立ち上げ、維持する。



戦略

政策と制度の変更

戦略 2: 2026年6月までに、周産期の健康格差の影響を受けている最低400人の妊娠者を対象とした、所得保証プログラムなどの経済安定化イニシアチブの実施を評価する。

戦略 3: 2027年6月までに、アフリカ系アメリカ人の乳児と妊産婦の死亡率（AAIMM）ドゥーラ・プログラムを少なくとも3つの医療関連システムに拡大し、文化的に肯定的で支持的な妊産婦ケアへのアクセスを改善する。



組織の準備態勢と能力

戦略 5: 2025年12月までに、黒人・アフリカ系アメリカ人の乳児と妊産婦の死亡率における不均衡に対処するため、地域のニーズを特定し、地域のニーズ評価に応じて少なくとも1つの新たな戦略を立案・実施する地域活動チームの能力を強化する。

パートナーシップを築く

戦略 4: 2027年6月までに、AAIMMビレッジ・ファンドを通じて、黒人の妊娠中および子育て中の家族にストレス軽減サービスとサポートを提供するために、少なくとも10の地域団体に資金を提供する。

戦略 6: 2026年6月までに、AAIMM運営委員会における意思決定の共有を通じて、3～5年の戦略計画を確定する。

協力行動

1. 政策と制度の変更を支持する

妊産婦と乳児の健康の公平性を優先し、制度的人種差別と差別に対処し、黒人・アフリカ系アメリカ人の個人と家族の医療、安定した住居、その他の支援へのアクセスとその活用を改善する政策と実践を支援する。

2. 包括的な研究とデータに貢献する

妊産婦と乳児の死亡率や、人種・民族別に集計された関連データの蓄積に加え、妊産婦と乳児の健康アウトカムにおける人種間格差の根本原因をよりよく理解し、機関内外でその格差に対処するための効果的な介入策をより良く特定する。

3. 地域社会主導の優先課題に取り組む

黒人・アフリカ系アメリカ人の妊娠・子育て家族を支援し、祝福するための戦略やイニシアチブの開発・実施に、地域社会や地域住民とともに参加する。

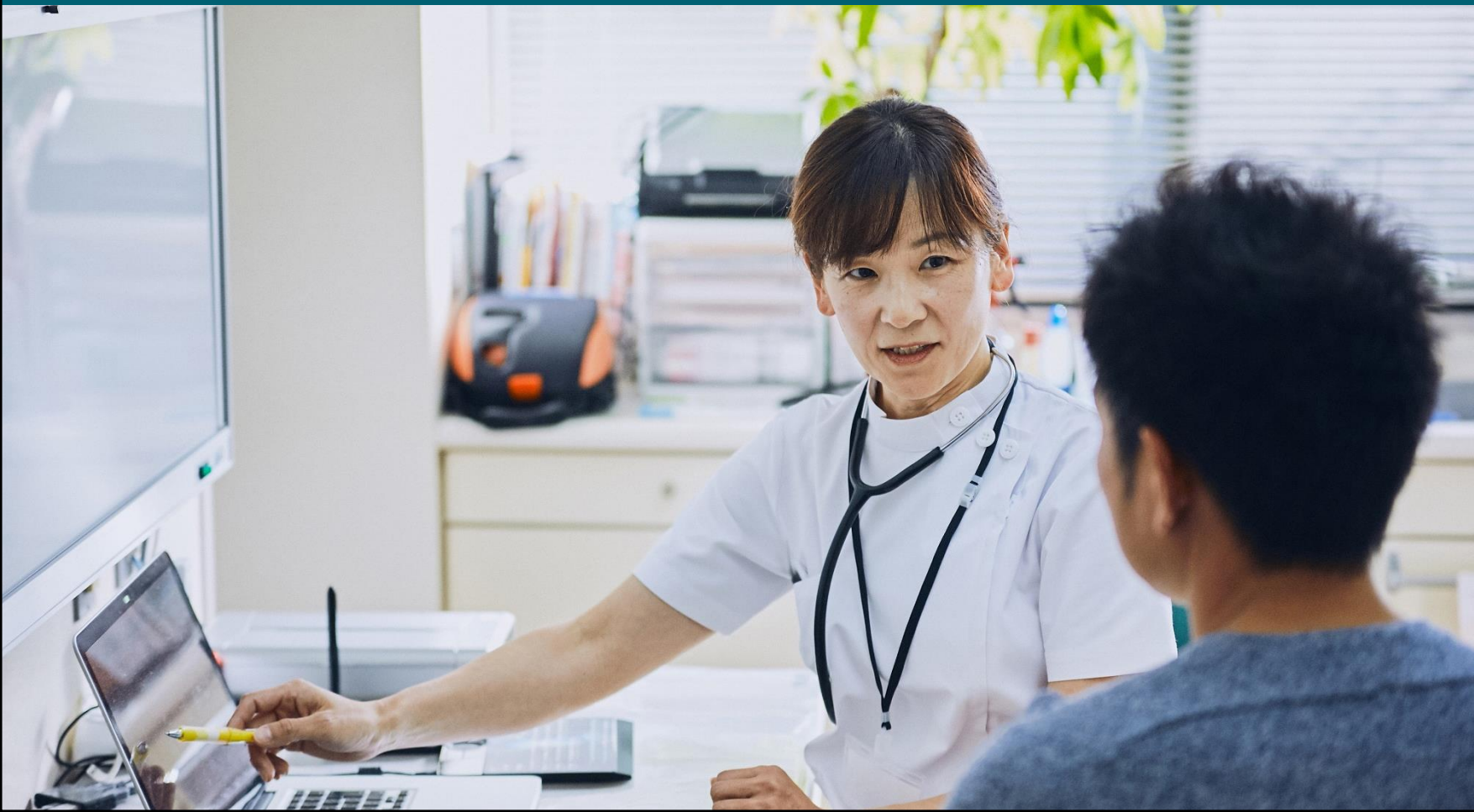
4. 地域社会に基づくプログラムと社会支援サービスを推進する

黒人・アフリカ系アメリカ人の妊産婦や子育て中の家族のために、教育（例：グループでの妊婦クラス、経済的な豊かさ、ストレス管理法、母乳育児支援）、カウンセリング（メンタルヘルス、栄養）、情報源、医療へのアクセス支援、その他の社会的支援サービス（例：父親の育児参加）を提供するプログラムを推進、資金提供、支援する。

5. 組織の変革を進める

公衆衛生上の問題として、黒人・アフリカ系アメリカ人の乳児と妊産婦の死亡率に関する教育、認識、可視性を高める。黒人・アフリカ系アメリカ人女性個人を非難するシナリオを解体し、代わりに人種差別を指摘し、システムの変革に取り組む。黒人・アフリカ系アメリカ人住民のユニークなニーズと経験をよりよく理解し、それに応えるための組織の準備と能力を高めるために、サービス指向の組織や機関を支援する。

重点分野 2: 性感染症および 天性梅毒



目的声明:

将来世代を含め、ロサンゼルス郡のすべての人は、性感染症や先天性梅毒から守られている。

測定可能な目標:

男性と性交渉を持つアフリカ系アメリカ人とラテン系男性（MSM）の第1期梅毒と第2期梅毒の発症率を、5年間で20%減少させる。

有用で包括的なデータ

戦略 1: 2024年12月までに、そして今後も継続的に、最新で使いやすいHIVと性感染症のデータを定期的に普及させ、コミュニティに力を与え、情報を提供するために、アクセスのしやすさと双方向性を確保する。

戦略

政策と制度の変更

戦略 2: 2027年12月までに、カリフォルニア州法とロサンゼルス郡のガイドラインを遵守し、妊娠しているすべての人が妊婦検診の初診時に梅毒の検査を受けることを義務付け、妊娠後期(28~32週)と出産時に追加検査を推奨する。

戦略 3: 2025年12月までに、性感染症に対する地域社会の認識と理解を深めることにより、性感染症のリスクが高い集団における性感染症検診・検査率を向上させる。

パートナーシップを築く

戦略 4: 2025年1月までに、性感染症の予防と管理の取り組みを改善するための行動や活動を特定するために、地域社会の意見やフィードバックを定期的に求めるパートナーシップ協議会を設立する。

(Japanese)



組織の準備態勢と能力

戦略 5: 2025年12月までに、公衆衛生調査官 (PHI)、地域社会に根ざした疾病介入専門家 (CEDIS)、および第一線の医療スタッフに的を絞った研修を定期的に提供する包括的なプログラムを確立する。

協力行動

1. 梅毒の検査数を増やす

生殖年齢の女性や妊婦を含むリスクのある集団に対して、梅毒の確実な検診と治療を実施する。

2. 性感染症に関する意識を高める

最もリスクの高い人々の間で、梅毒を含む性感染症に関する教育と認識を高める。検査、治療、情報開示の障壁となる性感染症にまつわる偏見と闘うために、偏見低減キャンペーンを行う。メッセージには、日常的なヘルスケアの一環として検査を取り入れることの重要性を含める。

3. 脆弱性が高い女性のための強化された医療モデルを活用する

梅毒への重要な介入として、物質使用障害やホームレスなどの複数の併存疾患を抱える女性のニーズを満たすために、強化されたモデルを活用する。

4. 文化的能力に応じた医療を提供するための組織の準備態勢を強化する

文化的に有能で言語的に適切な性感染症予防を提供できる人材の能力を高める。言語の障壁、文化的規範、社会経済的要因は、治療へのアクセスと健康転帰に影響を与える可能性がある。

5. HIVと性感染症の蔓延を食い止める

性の健康教育のセッションやキャンペーンを実施し、コンドームの配布場所になり、信仰に基づく組織、都市、地域団体、企業において、HIVや性感染症のリスクが高い個人や地域社会が直面する偏見や差別の撤廃に積極的に取り組む。地域のコミュニティ機関やプロバイダーは、HIVや性感染症のリスクが高い人々に対して、予防プログラム、検査、治療サービスへのアクセスを提供・促進し、パートナー・サービス（例えば、パートナーの聞き出しや告知）を支援することができる。

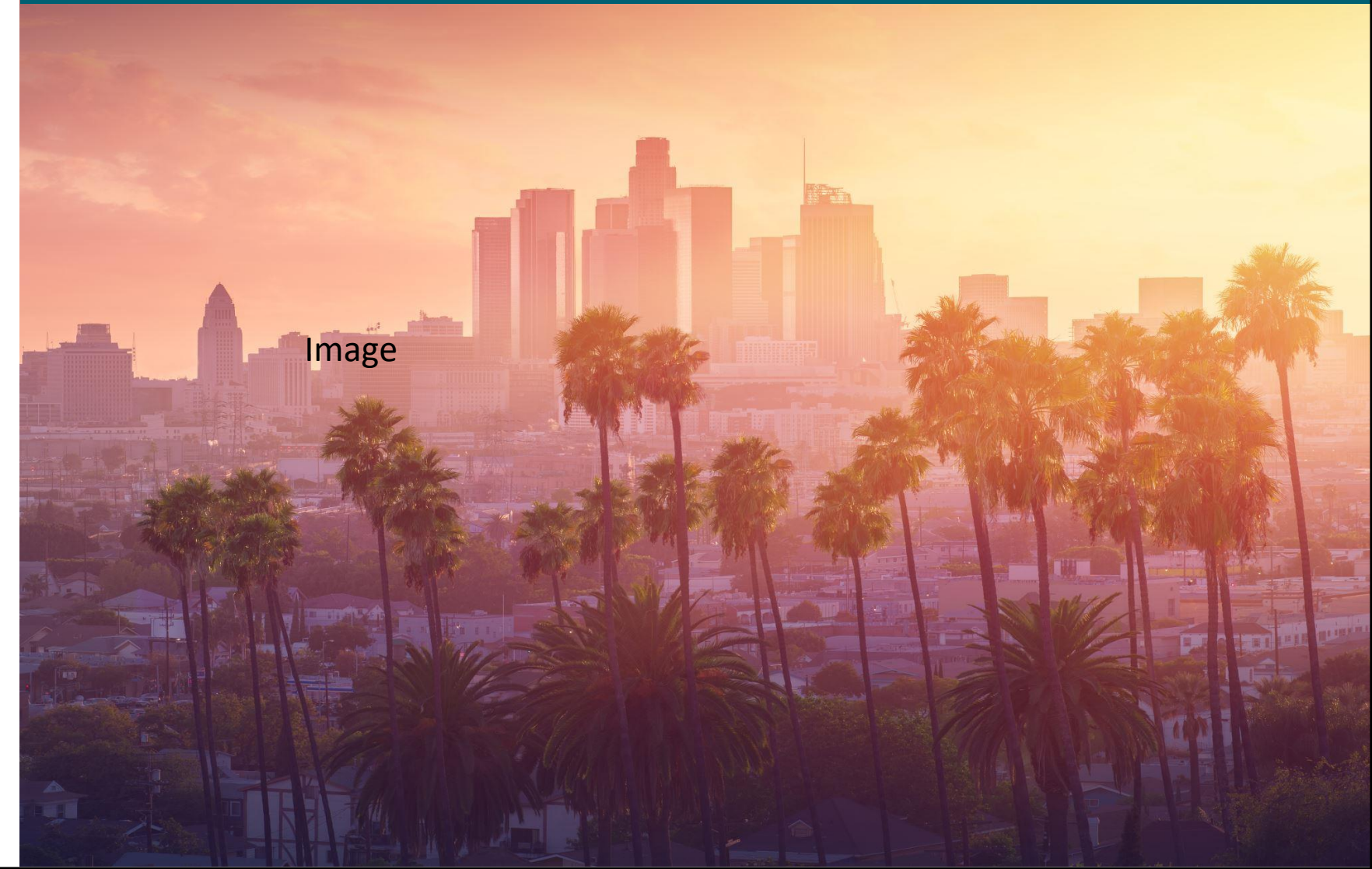
目的声明:

ロサンゼルス郡で最も汚染度の高いコミュニティに住む人々は、有害物質の暴露や気候変動の悪影響から安全な健康的な生活を享受する。

測定可能な目標:

5年以内に、ロサンゼルス郡で最も汚染された地域に住む、血中鉛濃度が $3.5\mu\text{g}/\text{dL}$ 以上の子どもの少なくとも25%について、鉛への暴露源を見つけ、解決する。

重点分野 3: 環境正義



戦略

有用で包括的なデータ

戦略 1: 2025年12月までに、戦略的計画の利害関係者の意見に基づき、環境、気候、関連する健康状態を共有する一般にアクセス可能なプラットフォームにデータを掲載する。

戦略 2: 2025年12月までとそれ以降毎年、環境正義・気候健康局(OEJCH)プログラムのウェブページが、戦略的計画の利害関係者の参加から収集された情報に基づいて、一般市民向けに最新かつ適切な情報を提供するようにする。

政策と制度の変更

戦略 3: 2025年12月までに、優先順位の高い環境正義と気候変動の健康問題に関する最初の政策アジェンダを策定し、追求すべき政策を少なくとも3つ特定する。





パートナーシップを築く

戦略 4: 2027年12月までに、LA郡全域の2000戸の住宅において、鉛含有塗料の危険性を改善することにより、鉛含有塗料による鉛中毒のリスクを低減する。

戦略 5: 2025年12月までとそれ以降毎年、超地元密着型の保健チームである地域公衆衛生チーム (Community Public Health Team: CPHTs) のそれぞれに研修を提供し、マップを作成することで、初期の試験的コミュニティにおける地域の環境・気候正義問題に関する知識と認識を高める。

組織の準備態勢と能力

戦略 7: 2027年1月までに、汚染物質への曝露と気候の影響により過重な負担を強いられている地域社会における環境曝露による健康格差を是正するため、共同で策定したOEJCH (環境正義・気候健康局) 戦略計画を実施する。

戦略 6: 2026年6月までに、ロサンゼルス郡内の環境正義および気候変動の健康問題を扱う団体と提携し、環境正義および気候変動の健康問題をテーマとするシンポジウムを支援・開催する。

協力行動

1. データとモニタリングに貢献する

データを共有し、ロサンゼルス郡コミュニティの健康に悪影響を及ぼす環境条件と、健康増進のための介入の有効性を理解する。

2. 政策立案、実施、執行に積極的に関与する

政策立案者、規制機関、非営利団体、住民を含む幅広い利害関係者と協力し、環境正義と気候変動の健康研究を有意義な政策変更へと導く。あらゆるレベルの政策活動において、環境正義コミュニティを特定し、その中心に据える。蓄積された環境汚染への曝露を含む、最前線の地域社会の状況に対処する政策を提唱する。健康格差の原因となる汚染物質への曝露から脆弱な集団を保護する、またはその曝露を減らすことによって、健康を促進する政策を提唱する。

3. 地域主導の優先課題とプログラムに取り組む

環境正義と気候の健全性に関連する戦略の立案、優先順位付け、実施、および意思決定プロセスにおいて、コミュニティと住民を積極的に関与させることにより、コミュニティと住民に力を与える。

4. 地元の環境状況に取り組む地域社会の能力を高める

環境正義の地域社会における複数の汚染源への曝露を永続させる累積的影響と土地利用やその他の意思決定プロセスについて、不釣り合いな影響を受けている地域社会を教育する。

重点分野 4: 暴力防止

目的声明:

ロサンゼルス郡のすべての家庭と地域社会は、暴力のない平和な文化の中で繁栄する。

測定可能な目標:

1. アフリカ系アメリカ人とロサンゼルス郡の平均殺人発生率の格差を5年間で20%縮小させる。
2. 親密なパートナーから身体的暴力を受けたことがあると報告する成人女性および性別の多様性をもつ人々の数を、5年間で10%減少させる。

戦略

有用で包括的なデータ

戦略 1: 2025年6月までに、OVP(暴力防止局)戦略計画の目標および目的に対する進捗状況を評価するための指標を備えた、一元化された公開データポータルを作成する。

政策と制度の変更

戦略 2: 2026年1月までに、性的暴行の生存者へのサービスを向上させ、予防プログラムに投資するため、郡の制度やサービス提供者間の連携を改善する性的暴行協議会を設立する。



パートナーシップを築く

戦略 3: 2026年7月までに、機関間の連携を強化することにより、生涯にわたるジェンダーに基づく暴力に対処するためのイニシアチブ(進んで物事に取り組む能力)とサービスを拡大する。

戦略 4: 2027年6月までに、街頭における支援、地域暴力介入(CVI)、病院暴力介入(HVIP)、平和のための地域活動(Community Action for Peace)ネットワークなど、トラウマ予防イニシアチブ(TPI)を通じて、1)9つの地域社会への投資を増やし、2)仲間による暴力介入訓練と郡のサービス連携のためのインフラを構築することにより、場所を基盤とした地域主導の治安活動を拡大する。

戦略 5: 2025年6月までに、地域社会の教育と意識向上、政策の変更、ピア・アプローチを通じて銃器の安全を推進する包括的な計画を実施する。

組織の準備態勢と能力

戦略 6: 2026年6月までに、癒しとウェルビーイングを促進し、地域特有のニーズを支援するために、郡の各部局と地域社会のパートナーの間で、トラウマに配慮したシステムと実践の変革を実施する。

戦略 7: 2026年6月までに、公衆衛生問題としての暴力および暴力に対する共通の理解を促進するための協調的コミュニケーション戦略を策定する。

戦略 8: 2025年6月までに、青少年、有色人種、退役軍人、銃器所持者など、自殺のリスクが高いとされる人々の間で、自殺や自殺行為を防止するための地域的な取り組みを実施する。

協力行動

1. 包括的な研究とデータに貢献する

- 銃による暴力、自殺、憎悪による暴力、家庭内暴力、性的暴力、人身売買など、さまざまな形態の暴力について、データのギャップに対処し、理解を深めるためのデータを特定し、共有する。
- 暴力の状況や、暴力の影響を受けている人々の声を増幅するためのピア・アプローチやストーリーテリングのような、癒しを情報源としたコミュニティ中心の実践の影響についてより深く理解するための質的データを収集する取り組みや、コミュニティに根ざした参加型調査を支援する。

2. 政策と制度の変更を支持する

- トラウマに配慮したアプローチや癒しの実践を促進し、人種差別や偏見の要素を減らすような政策や実践を支援し、実施する。さらに、青少年を含むサバイバーやコミュニティのメンバーが、そのような政策や実践の策定に情報を提供し、参加できるプロセスを支援する。
- 財政機関との提携、契約要件の合理化・簡素化、郡保険要件の検討、草の根組織の能力を高める技術支援イニシアチブへの資金提供に加え、公平性の向上を支援するために、草の根の地域密着型組織にとって資金がより利用しやすくなるような政策と実践を支援し、実施する。

協力行動

3. 地域主導のプログラムと優先事項に関与し支援する

- 資源やサービスを提供し、青少年のリーダーシップを育成し、芸術、癒し、修復的司法を推進する、総合的かつ文化的に関連性のある青少年センターなどのプログラムの開発を支援し、地域社会に根ざしたトラウマに配慮した既存のイニシアチブを支援する。
- 地域の暴力防止連合や平和のための地域活動ネットワークにおいて、地域に根ざした組織やパートナーと協力し、地域のリーダーシップと協力を支援し、地域の防止計画の一環として、暴力の根本原因、公衆衛生的アプローチ、トラウマと癒し、人種差別、歴史的抑圧に関する知識を共有する。
- トラウマ予防イニシアチブのコミュニティなど、暴力の影響を受けているコミュニティの健康、癒し、幸福を支援するイニシアチブを連携させ、各コミュニティのニーズや資産に合わせた全体的で場所に根ざしたアプローチを構築する。郡全域に銃の安全ロックを無料で配布するための追加リソースとパートナーシップを特定する。

4. 組織変革イニシアチブに投資する

- あらゆるレベルの労働者に対する研修、青少年や青少年と関わる組織に対する研修、スタッフを支援し、リソースを提供し、代理的トラウマや共感疲労に対処する組織的実践や方針の調整を含む、トラウマに配慮したシステム変革に取り組む。
- 迅速な対応を可能にし、新しく創造的な戦略を奨励し、最新の社会情勢や政治的・物理的環境に適応できるようなリソースを提供し、柔軟な資金を提供することによって、プログラムやイニシアチブに投資する。
- 暴力が多発している地域の外傷センターにおいて、「夕暮れの公園(Parks After Dark)」、「夏の夜間のライトアップ(Summer Night Lights)」、「危機対応(Crisis Response)」、「街頭での支援(Street Outreach)」、「病院における暴力介入プログラム(Hospital Violence Intervention ProgramsまたはHVIPs)」などのプログラムを維持・拡大するための資源と専用の継続的な資金を提供する。
- 暴力を予防可能な公衆衛生の問題として支持し、暴力の影響を受ける多様な利害関係者を巻き込む共通のメッセージと革新的な方法を開発するために、協調的なコミュニケーション・キャンペーンに投資する。

変革には、公衆衛生局とパートナーの総意と責任を持った関与が必要です。

この計画の成果は、それぞれが孤立して取り組んでも達成することはできません。

私たちは、この計画が、健康アウトカムにおける不平等の根本原因に取り組むことで、健康の不平等を削減するためのガイダンスとして活用されることを願っています。

私たちとのパートナーシップについては、こちらをご覧ください：

<http://publichealth.lacounty.gov/pie/planning/chip.htm>

